



防災（浸水被害の軽減）の現況

- ・明石市の風水害ハザードマップでは、朝霧川、明石川、赤根川、瀬戸川の流域において浸水が想定されている（100年確率）。
- ・特に、明石川の流域では、広範囲・高水深の被害が懸念される。



嘉永橋・台風30号の被害（昭和35年）
出典）ふるさと明石・写真帳（播磨学研究所編）



明石川・伊川の氾濫（昭和34年）
出典）ふるさと明石・写真帳（播磨学研究所編）



平成20年7月8日の浸水状況（山手台）



平成20年7月8日の浸水状況（天文町）